

法人格	フガナ	ジェーマックス	フガナ	ナカノ ヒロコ	団体設立日	平成12年		
有	団体名	JMACS	代表者名	中野 博子	法人設立日	平成13年11月1日		
活動地域	愛媛県内		正会員	賛助会員	事務局	ボランティア		
主たる活動の種類	介護保険関連施設への調査事業		個人	10人	有償	5人	有償	
従たる活動の種類	高齢者福祉環境向上のための事業・子供の居場所づくり事業		団体		無償		無償	
所在地	〒790-0003 松山市三番町6丁目5-19 扶桑ビル2階		単位千円	収入合計	会費	寄附金	自主事業	委託事業
TEL	089-913-0302		18年度	23,514	60		23,514	
FAX	089-913-0348		17年度	13,843	60		13,783	
Eメール	info@jmacs.jp		16年度					
ホームページアドレス	http://jmacs.jp							

* 下記は、箇条書きでわかりやすくご記入ください。

団体設立のきっかけ	自己評価
<p>松山市に在住の仕事を持つ女性達が、幼児から高齢者まで快適な福祉環境とは何かを研究、啓発するために立ち上げた団体です。</p>	<p>(各32点満点)</p> <p>課題発見力 25 情報発信力 20 組織育成力 25 事業推進力 28 財源開発力 28</p> <p>評価指標は千葉県「NPO家計簿」より</p>
今、力を入れている活動	
<ul style="list-style-type: none"> 愛媛県から「グループホームの第三者評価事業」「介護サービス情報の公表制度調査事業」の指定調査機関の認定を受けて、調査を行っている。 また、高齢者施設での音楽療法の普及・啓発活動にも力を入れており、2年つづけてスタッフのための音楽療法紹介講座を実施している。 平成18年11月から 松山市桑原2丁目の 桑原小学校北側に建設された「遊友ホール」で地域の子供たちのための「生活体験クラブ遊友学舎」をオープンし 週末に月3・4回 科学実験教室、自然体験プログラム、伝統文化体験プログラム を中心に運営している。 19年4月からは学童保育事業にも着手し近隣の小学校の子供たちの放課後 長期休み中のお預かりを実施している。 遊びや創作活動を通して子供たちの豊かな感性を育てたい、また地域の子育て支援のネットワークを築きたいと考えている。 	
主な活動実績	
<ol style="list-style-type: none"> 平成15年 公園ボランティア養成講座実施 ボランティアクラブを立ち上げる。 平成16年 第1回音楽療法の紹介講座実施 平成17年 第2回音楽療法の紹介講座実施 グループホーム第3者評価調査事業所として愛媛県から認定され調査を実施 平成18年 介護サービス情報の公表制度調査事業所として愛媛県から認定され調査を実施 平成18年11月から松山市桑原2丁目の遊友ホールで子どもたちのための生活体験プログラムを実施 2ヶ月に1回親子で楽しめるコンサート開催 	

NPO連携シート

団体の目的・目標	わたしたちの強み
<ul style="list-style-type: none"> ・ 放課後の子供たちの居場所作り事業 ・ 子供たちのための生活体験プログラムの実施 ・ 音楽療法の正しい理解 ・ 福祉施設で音楽療法が行われることで、高齢者の生活の質の向上と、生活の楽しみを促進すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 桑原地区に新築された遊友ホールでの「生活体験クラブ 遊友学舎」の運営 ・ 環境学習で実績のある「NPO法人自然環境教育えことのは」との連携で、子供たちのための科学実験・自然体験・伝統文化体験などのプログラムの実施 ・ 音楽療法講座の開催
<p>今後、団体に必要と思われること、モノなど</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供たちの居場所作り事業で、民間の学童保育施設を立ち上げたいと模索中 そのための設備、人材など検討中 ・ 愛媛県内において、どの程度音楽療法が行われているかの把握。 	
<p>目標達成のため連携したいことがあればお書きください。 どんな団体と？どんな風に？（アイデア程度でいいです）</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、「NPO法人自然環境教育えことのは」と連携して子供たちの放課後の居場所作りを検討中であるが、県内外の民間の児童クラブ・施設等の情報収集、スタッフの養成などのための研修などのための連携を必要としています。 ・ 福祉施設において、音楽療法に取り組んでいる団体、および人とのネットワーク作り、連携していくこと。 	

NPO自己評価チェックリスト

出展:千葉県「NPO家計簿フォーマット」より

このチェックリストは、みなさんが自分たちの団体を振り返り、よりよい活動にしていくための指標です。また評価内容を公開することで、団体の透明性が増し、市民の信頼を得ることができます。点数は1:できていない 2:あまりできていない 3:まあまあできている 4:できている です。

1. 課題・ニーズを発見する力	合計:	25
◆様々な手法による課題・ニーズの把握		
1) 参加者、利用者の方々と話をして情報収集をしている。		4
2) 課題やニーズを把握するためのアンケート等の調査をしている。		3
3) 地域や他の団体、関係機関との意見交換や交流の場を設けている。		3
4) 行政、または新聞、書籍、テレビなどのマスメディアから情報収集をしている。		3
◆課題・ニーズを把握するための環境		
1) 課題やニーズを調査するための人材や環境が整っている。		3
2) 課題やニーズを発見するためのネットワークや仕組みを持っている。		3
3) 課題やニーズについて得た情報について、団体で話し合っている。		3
4) 課題やニーズについて得た情報を事業に活かしている。		3

2. 広報を活かす力	合計:	24
◆様々な手法による広報活動		
1) 機関紙、ホームページ等で団体の活動を紹介している。		4
2) 行政が発行する広報誌や新聞、テレビ等のマスメディアを活用している。		2
3) 様々な行事やイベント等に参加して、団体の活動をPRしている。		2
◆広報の対象についての調査、活用		
1) 伝えたい対象者がはっきりわかっている。		4
2) 伝えたい対象者について、事前に情報を収集している。		4
3) 得た情報や調査の結果が、広報をするときに効果的に反映されている。		3
◆広報結果の調査、整理		
1) 広報をした結果について振り返りなどの調査をしている。		2
◆広報活動の環境		
1) 広報に関する仕事ができる専門家やスタッフがいる。		3

3. 組織を育てる力	合計:	21
◆人材の受け入れ、育成		
1) 事業に参加を希望する人を受け入れている。		3
2) スタッフや新人が研修するための機会を、組織内外において設けている。		2
◆組織全体で進める体制		
1) 理事会と現場のスタッフとの意思の疎通や連携がうまく取れている。		3
2) スタッフ全員で団体の課題や事業等について定期的に話し合っている。		4

◆外部力の導入、活用

- | | |
|---|---|
| 1) 分野の異なる団体や企業が開催しているフォーラム等の集まりに参加している。 | 2 |
| 2) 地域や他の団体等と勉強会や研修会をしている。 | 2 |
| 3) 外部の人を積極的に活用している(インターンシップ等) | 2 |

◆仕事を行う環境

- | | |
|--|---|
| 1) スタッフやボランティアが安心・安全に活動できる制度(保険等)が整っている。 | 3 |
|--|---|

4. 事業を推進する力 合計: 28

◆目標や計画の設定、立案

- | | |
|---|---|
| 1) 団体のビジョン、社会的な役割、活動の将来像が描かれている。 | 3 |
| 2) 目標を実現するための事業について具体的な目標や実施計画が立てられている。 | 3 |

◆取り組みの姿勢、実施体制

- | | |
|---|---|
| 1) 目標や計画の設定、立案が団体内で理解、共有化され、
実現に向けて組織全体で取り組んでいる。 | 4 |
| 2) 事業の企画、運営管理、総務(労務、経理)についてよくわかる人がいる。 | 4 |
| 3) 事業を進める上で、多様なネットワークからの支援、協力を求めることができる。 | 3 |

◆事業評価、分析、活用

- | | |
|--|---|
| 1) 計画と実績の、経費バランスの評価、検証ができています。 | 4 |
| 2) 費用対効果を含めた事業の成果について全体で検討し、改善、活用している。 | 4 |
| 3) 外部からの意見、要望、問い合わせ、クレーム等を事業へ反映させている。 | 3 |

5. 財源を生み出す力 合計: 23

◆経営の安定化を図る活動

- | | |
|---|---|
| 1) 事業づくりのための営業的活動や企画提案等をしている。 | 2 |
| 2) 安定した収益を得るための基盤となる会員拡大や事業づくりに取り組んでいる。 | 2 |

◆事業の創出、財源確保の手法

- | | |
|---|---|
| 1) 他の団体、または企業との連携や協働事業に取り組んでいる。 | 3 |
| 2) 企業や行政等が実施する公募事業(委託事業等)に応募している。 | 3 |
| 3) 行政、企業、市民等による補助金、支援金を活用している。 | 3 |
| 4) 財源を確保するために団体独自の方法がある。 | 4 |
| 5) 様々な地域資源(ヒト、モノ、カネ、情報、文化、産業など)を活用している。 | 3 |

◆専門機関の活用

- | | |
|--------------------------------------|---|
| 1) 団体経営や事業の運営等について中間支援団体や専門家に相談している。 | 3 |
|--------------------------------------|---|